

第20回独立行政法人評価委員会水資源機構分科会等合同会議 議事要旨

1. 日 時 平成24年7月31日（火）13:00～16:20

2. 場 所 中央合同庁舎3号館11階特別会議室

3. 出席者（順不同、敬称略）

厚生労働省 尾崎勝委員、茂庭竹生委員、水谷昌弘臨時委員

農林水産省 平松和昭委員

経済産業省 小泉明委員、棚木誠臨時委員、山谷修作臨時委員

国土交通省 中村里佳委員、濱田政則委員、石川幹子臨時委員、井上和也臨時委員、森野美徳臨時委員

4. 議 題

(1) 平成23事業年度業務実績評価

(2) 中期目標期間終了時の組織・業務の見直しについて

(3) 利益剰余金の取扱について

5. 議事概要

(1) 平成23事業年度業務実績評価

平成23事業年度業務実績評価の審議を行い、分科会における個別項目等に係る評価は以下のとおりとなった。

①個別項目評価

| 評価項目番号 | 評価項目 | 年度業務実績の評価 |
|--------|--|---------------|
| 1 | 安定的な用水の供給、良質な用水の供給 | 着実な実施状況にある（A） |
| 2 | 洪水被害の防止又は軽減 | 優れた実施状況にある（S） |
| 3 | 施設機能の維持保全等 | 着実な実施状況にある（A） |
| 4 | リスクへの的確な対応 | 着実な実施状況にある（A） |
| 5 | 計画的で的確な施設の整備（ダム） | 着実な実施状況にある（A） |
| 6 | 計画的で的確な施設の整備（水路） | 着実な実施状況にある（A） |
| 7 | 環境の保全 | 着実な実施状況にある（A） |
| 8 | 技術力の維持・向上と技術支援 | 優れた実施状況にある（S） |
| 9 | 関係機関との連携、水源地域等との連携 | 着実な実施状況にある（A） |
| 10 | 広報・広聴活動の充実 | 着実な実施状況にある（A） |
| 11 | 内部統制の強化と説明責任の向上 | 着実な実施状況にある（A） |
| 12 | 機動的な組織運営、効率的な業務運営、事務的経費の節減、総人件費改革に伴う人件費の削減 | 着実な実施状況にある（A） |
| 13 | コスト構造改善の推進、事業費の縮減 | 着実な実施状況にある（A） |
| 14 | 適切な資産管理 | 着実な実施状況にある（A） |
| 15 | 予算、収支計画及び資金計画など財務内容の改善に関する事項 | 着実な実施状況にある（A） |
| 16 | その他業務運営に関する重要事項 | 着実な実施状況にある（A） |

②総合評価 A

(2) 中期目標期間終了時の組織・業務の見直しについて

- ① 事務局より「水資源機構の見直し素案の概要(案)」について報告し、質疑等を行った。
- ② 見直し素案については、会議での意見等を踏まえ必要な修正を行うこととなり、具体的な修正内容については、議長一任となった。
- ③ 委員から示された主な意見は次のとおり。
 - 安全性についての記述を充実すべき
 - 技術力の維持・向上に係る取組は重要であり、そういった観点からの記載が必要ではないか。
 - タイ洪水における支援などに見られるように、機構の技術力を活用した海外支援や海外展開は重要であり、見直し素案についてもその旨記載すべきではないか。

(3) 利益剰余金の取扱いについて

- ① 事務局より「利益剰余金の取扱い」、水資源機構より「利益剰余金の有効活用についての基本的な考え方」について、現時点での検討状況及び検討の方向性等を説明し、質疑等を行った。
- ② 利益剰余金の取扱いについては、会議での意見等を踏まえ、引き続き検討することとなった。
- ③ 委員から示された主な意見は次のとおり。
 - 今後、機構がどのような人員・体制で、どのような業務を行うのかを示した上で、検討を行う必要があるのではないか。
 - 機構の目指すべき方向性の考え方、機構を取り巻く状況と利益剰余金の活用の内容が整理されておらずわかりにくいものとなっている。考え方を整理した上で、プレゼンも含めしっかりとした資料とする必要があるのではないか。
 - 今やっておかないと、後々大変なことになるという説明をするなど、選択と集中、メリハリを付けた資料とするほうが、対外的には説得力があるのではないか。
 - 利益剰余金があるから使っているという印象を与えないよう、活用の必要性等をきちんと説明した資料とすることが重要ではないか。